

手術を受ける乳がん女性への看護に関する研究



看護学科（成人看護学）
看護学研究科（成人看護学）

やま だ あや こ
山田 紋子

● 連絡先 E-Mail : yamadaa@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード

看護, 乳がん, 意思決定, 手術



乳がんは、女性のがんの中で年齢調整罹患率 第1位を占め、女性にとって罹患しやすいがんの1つだといえる。その治療は複数の方法を組み合わせる行うが、多くの場合、手術療法は必須となる。乳がん手術を受ける女性は、がん罹患した衝撃を受けながら、手術の術式を自ら意思決定し、乳房の変形あるいは喪失を受け入れていかなければならない。その中にはボディイメージや自己像の否定的変化、落ち込みやうつを感じる女性もいる。

私は看護師として、このようなさまざまな想いを抱く多くの女性に出会い、自身も悩みながら関わってきた。こうした経験に基づき、手術を受ける乳がん女性へのサポートについて探究している。現在は、近年、乳房喪失への対応の1つとして注目されている乳房再建術に焦点をあて、再建術を受けるか否かの意思決定や手術に伴う体験をテーマとし、看護師の役割について検討している。

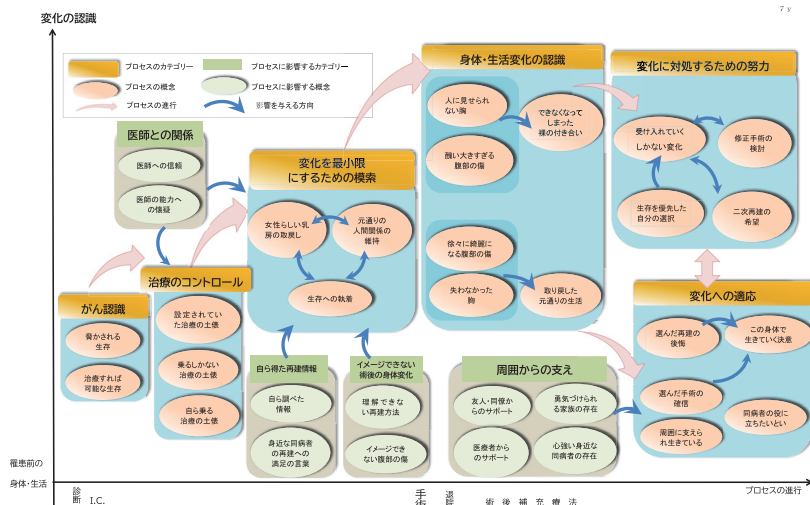


図1 乳房再建術を提案された乳がん女性の身体・生活の変化を乗り越えていくプロセス

アピールポイント

昨今、がんを抱えながら働く女性は大勢いらっしゃいます。微力ですが、少しでもそうした皆様のお役に立てたらと考えております。